

総務委員会・分科会での主なQ&A

3/10 開催
付託議案 6件
請願 2件

ふるさとづくり寄附金

Q 返礼品であるアサヒビール製品の取り扱いが本年1月末に終了する中、寄附の見込み額をどのように積算したのか？

A 個人を対象としたふるさと納税の寄附金見込み額については、前年度の実績などをベースに積算しており、令和5年度においては、寄附金額の約45パーセントを占めるアサヒビール製品や他の返礼品の減少などを考慮したことにより、令和4年度の歳入予算額の2分の1の約5億円を見込み、積算している。



操業を終了したアサヒビール西条工場

SDGs 未来都市推進事業

Q 令和5年4月からLOVE SAIJOポイントの取り扱い店舗が負担する地域応援協力の概要は？

A 現在、国・県の交付金を活用し、行政が負担して実施している1パーセントのポイント還元について、令和5年4月からは、ポイント還元分を取り扱い店舗が負担することで、持続的な地域消費の喚起に取り組みようとするものである。

Q ポイント還元分を負担することについて、取り扱い店舗の理解を得るため、どのように取り組んでいるのか？

A 取り扱い店舗に対しては、加盟の際に重要事項を説明する中で、令和4年度は手数料などを無料とするが、令和5年度は手数料などの負担を求めるよう検討を進めている旨を案内し、理解を得ている。

福祉文教委員会・分科会での主なQ&A

3/10 開催
付託議案 11件

生活困窮者家計改善支援事業

Q 事業内容は？

A 支援機関の支援員が生活に困っている相談者とともに目標や家計再生プランを作成し、キャッシュフロー表の活用や出納管理などの具体的な支援内容の提案を行うものである。

Q 個別プランを作成し実施した後のフォロー体制は？

A 相談者に対しては、生活全般の複合的な課題の解決を図る必要があることから、家計状況だけでなく、総合的・包括的なアセスメントを行うことが重要であり、生活困窮者自立支援事業と一体となった取組が必要であると考えている。

国の要綱によると、実施機関は、主任相談支援員、就労支援員などを配置するよう示されていることから、その要件を満たす西条市社会福祉協議会と一体となりフォローアップしたい。

ICT教育支援業務委託料

Q 予算計上に至った理由と、ICT支援員が配置される時期は？

A 本市は他市に先駆けて一人1台タブレット端末を導入し、一定の評価をいただいているが、以前は配置していたICT支援員を、現在は配置しておらず、ICT教育推進体制が問題視されていた。そのため、直接雇用と専門業者への委託などによりICT支援員を確保したいと考えており、令和5年9月を目標に配置したい。



ICT教育の充実を図る